

## 編集後記

今回の「熱測定」にはソフトマターに関する解説記事が二件（宮崎先生、辰巳先生）掲載されています。どちらもガラスや過冷却液体に関する話題です。私も専門はソフトマターなのですが、お恥ずかしながら、ガラス研究はなんとなく難しいそう、ややこしそうという思いから遠巻きにしか見てきませんでした。しかし本解説記事を拝読し、ガラス研究の最先端を知ることができて大変勉強になりました。私は本誌のような雑誌の編集に携わるのは初めてで、なかなか大変な仕事だなとも感じています。今回のように自分が勉強してみたい分野の記事を集めることができるのは役得だな、と実感した本号でありました。これら以外にも、今号であれば装置開発（筑紫先生）やナノ粒子の科学（一柳先生）など、自分の専門とは異なる様々な分野の研究内容を知ることができるのも本誌の特徴と感じています。それはひとえにご執筆いただいた先生方が、わかりやすく、また面白く記事を書いていただいているお蔭であります。みなさまには大変感謝しております。

ところで日本ではガラスはかつてギヤマンと呼ばれていたそうです。その語源はオランダの *diamant*。つまりダイヤモンドです。結晶であるダイヤモンド＝ガラスとは、我々からするとものすごく違和感があります。しかし、透明度の高いガラスは今でもクリスタルガラスと呼ばれたりもします。まだまだ発展段階にあるガラス研究ですが、これが成熟し、我々の感じる違和感が一般にまで理解されるようになるのはいつの日になるのでしょうか。

（菱田 真史）

## 【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し（社）日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。（社外頒布用の複写は許諾が必要です。）

権利委託先：（中法）学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

## 2015年度「熱測定」編集委員会

（委員長）中澤 康浩

（編集委員）伊豆津 健一、神山 匡、戸田 昭彦、丹羽 栄貴、菱田 真史、藤代 史、三宅 淳巳

（拡大編集委員）飯島 美夏、木村 二三夫、橋本 拓也、林 英子、森川 淳子、山崎 淳司

## 2016年度「熱測定」編集委員会

（委員長）藤代 史

（編集委員）池内 賢朗、神山 匡、戸田 昭彦、西本 右子、菱田 真史、三宅 淳巳、米持 悦生

（拡大編集委員）伊豆津 健一、木村 二三夫、中澤 康浩、丹羽 栄貴、林 英子、山崎 淳司

熱測定 Vol.42, No.4, 2015

昭和 52 年 5 月 27 日 第 4 種郵便物（学術刊行物）認可

平成 27 年 10 月 25 日 印刷

平成 27 年 10 月 30 日 発行

発行人 日本熱測定学会 城所 俊一

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601  
TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.netsu.org/>

郵便振替口座 00190-5-110303